

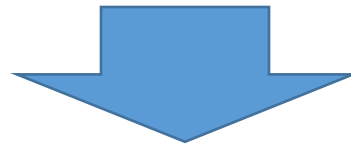
世界銀行 国際研修

東京都の事前復興の取組

2025年6月19日
東京都 都市整備局 市街地整備部
企画課 課長代理 白鳥 辰哉

昨今の自然災害を踏まえた問題意識

- 首都直下地震では、阪神・淡路大震災や東日本大震災よりも甚大な被害が想定されるため、**どのように復興するかを平時から考えるなど、事前の準備が不可欠**
- 政治や経済の中核である**東京の速やかな復興は、日本のみならず世界全体からも求められる**



- ✓ **発災後、復興に向けた手順や役割分担を職員一人一人が理解しているか？**
(例) 被害状況の把握、復興方針・計画の策定、建築制限の実施 等
- ✓ **どのような場所・都市施設を優先的に復興すべきか整理されているか？**
(例) 道路、鉄道、河川・公園、区画整理、再開発 等

都市の事前復興の概要

■ 事前復興の取組

- 首都直下型地震等で被災した場合、**迅速かつ計画的な都市復興**を実現できるよう
復興のあり方や手順、執行体制をあらかじめ検討、都民や行政職員等と共有
- 阪神淡路大震災（1995年1月）を契機として、東京では**全国に先駆けて「事前復興」**の取組を開始

① 都市復興のあり方



震災復興グランドデザイン

復興の目標や復興都市像
を示す、被災後の復興都市
づくりの基本的な指針



「都市づくりのグランドデザイン」
に合わせて一部改定



都市復興の理念、 目標及び基本方針

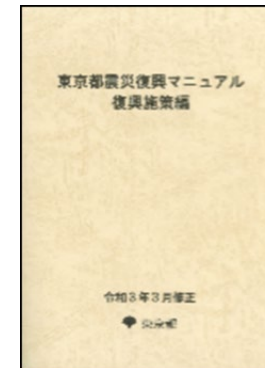
自然災害により被害を受けた場
合に、**都市復興の方針・計画の策
定や事業を実施する際の指針**

② 都市復興の手順、執行体制



東京都震災復興マニュアル (復興プロセス編)

復興の基本的な考え方住民主体の
復興を進めるための仕組み等



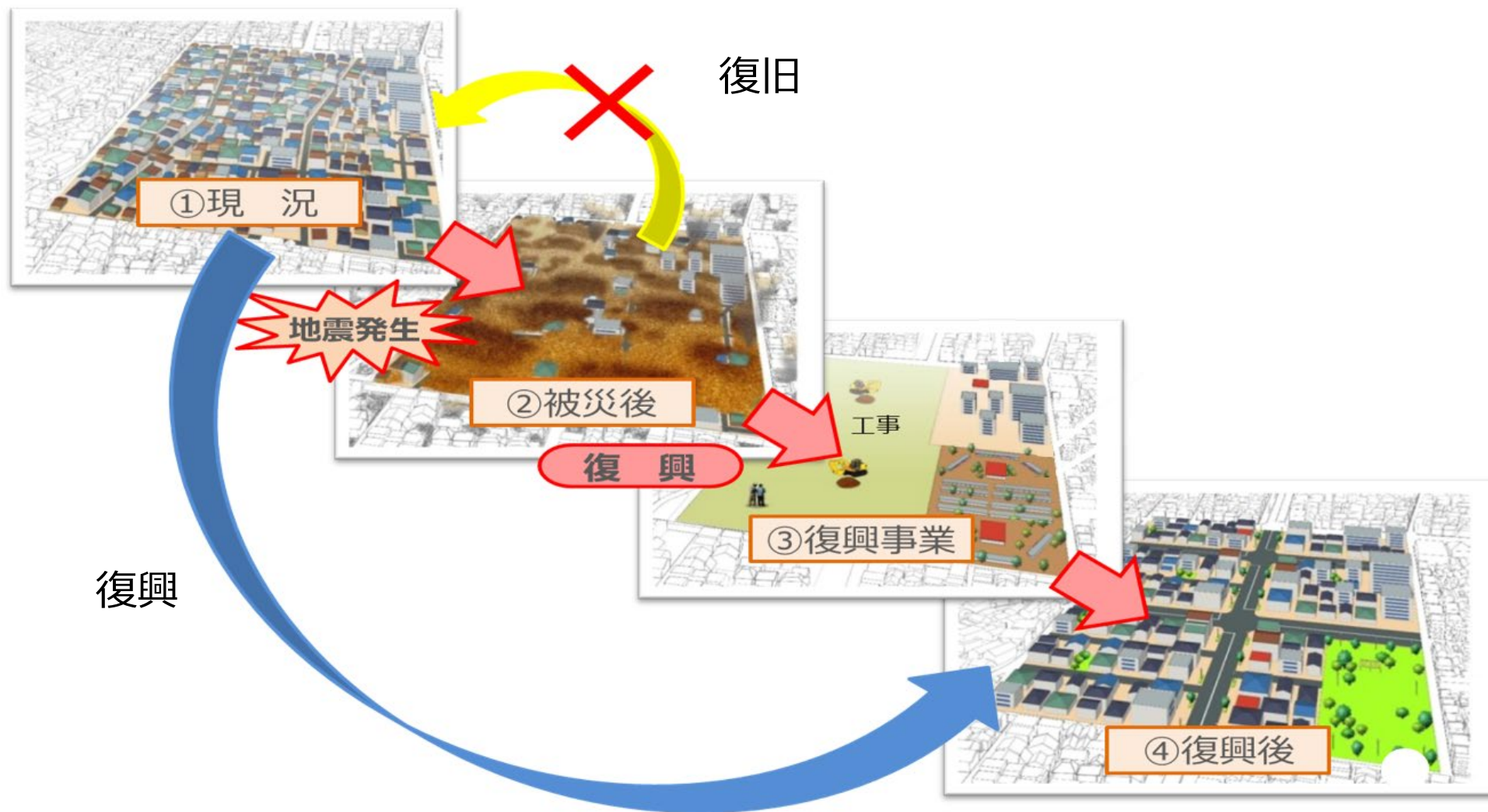
東京都震災復興マニュアル (復興施策編)

震災が発生した場合、
行政の取るべき行動や必
要な事業等について記載

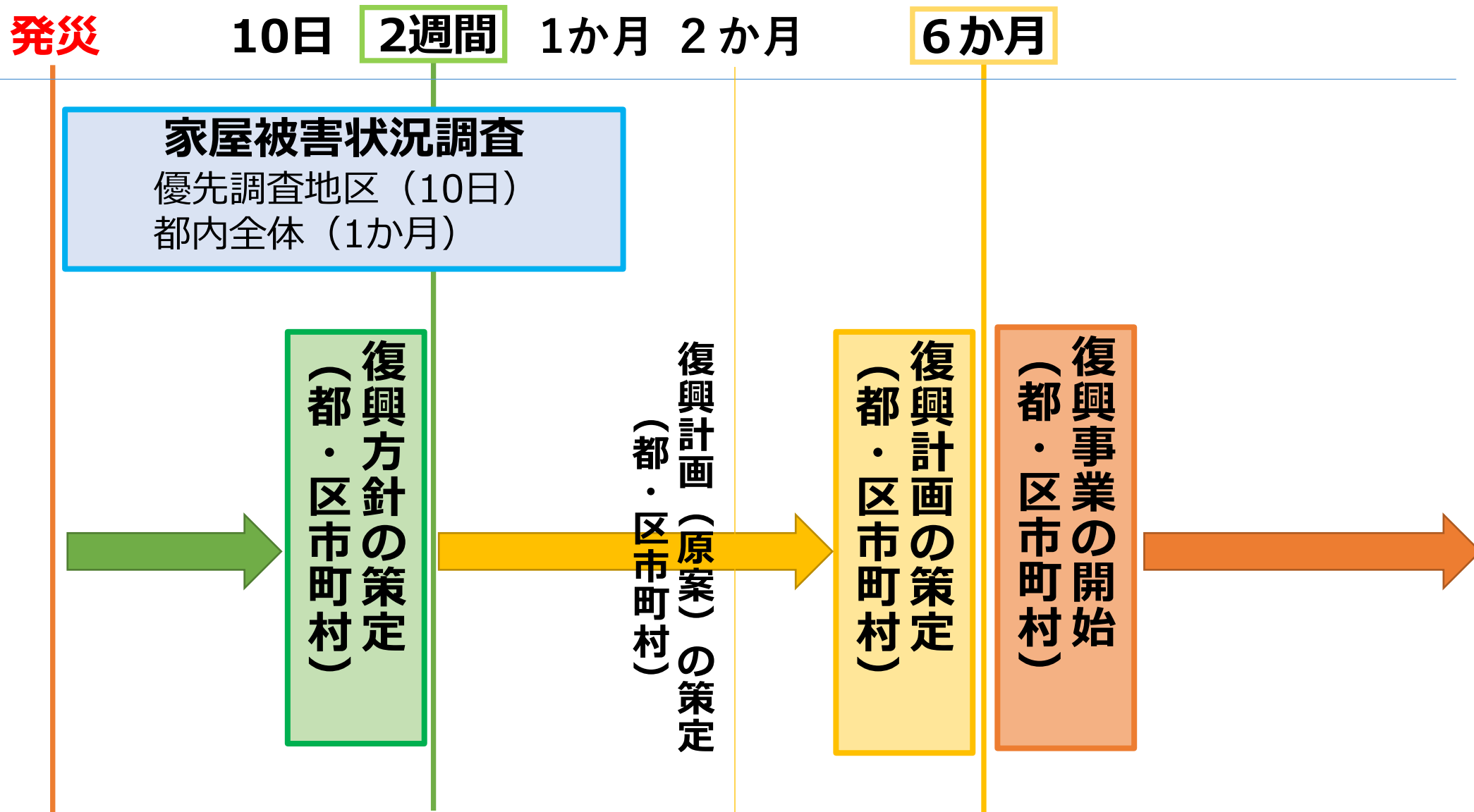
共有 ③ 都民等への普及啓発、④ 行政職員の実務能力向上

■復興を行う目的

- 災害を受けた市街地では**再び被災を繰り返さないために、より安全で快適なまちへ復興させる**



■ 復興の流れ



都市復興訓練・普及啓発の取組

都市復興訓練・普及啓発の取組

➤ 毎年、時機に合った内容を企画・検討し、都市の事前復興の取組を推進

○各種訓練の実施

- ・ 阪神淡路大震災を契機に**復興マニュアル**を策定
- ・ 1998年度より**都市復興訓練**を毎年実施

- ① 広域都市復興訓練
- ② 都市復興訓練
- ③ 復興まちづくり実務者養成訓練
- ④ 家屋被害状況調査訓練



広域都市復興訓練



家屋被害状況調査訓練

○普及啓発の実施

- ・ 2000年度から「**事前復興シンポジウム**」を毎年開催
- ・ 2023年度から関東大震災100年を契機とし、「**子供向け訓練**」を実施



シンポジウム



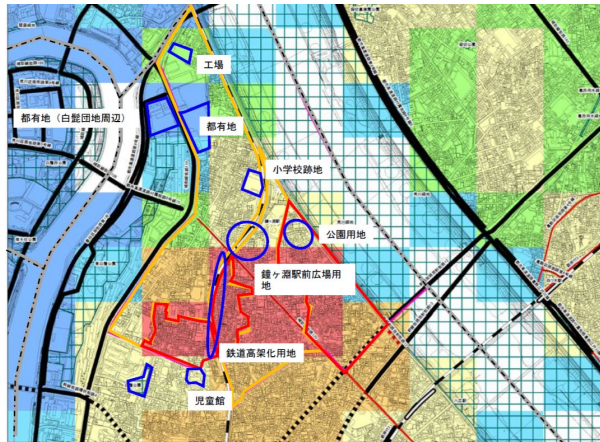
子供向け訓練

各種訓練の概要

- 都職員及び区市町村職員を対象に、震災復興マニュアルの手順に基づき訓練を実施
- 学識経験者など、都市復興の有識者による訓練協力を得て、職員の実務能力を向上

① 広域都市復興訓練 ② 都市復興訓練

- ・ 都職員及び区市町村職員を対象
- ・ 復興方針・計画等を策定



都施行とすべき都市施設等の整理
(広域都市復興訓練)



復興対象区域の検討
(都市復興訓練)

③ 復興まちづくり実務者養成訓練

- ・ 区市町村職員を対象
- ・ 地域住民との訓練の企画立案



区市町村**独自**に地域住民と
訓練を実施

④ 家屋被害状況調査訓練

- ・ 航空写真等を活用し被災状況の把握
- ・ 都と区市で**データ**の送受信



航空写真から被災状況を判読



デジタル地図へ記載

地域・大学と連携した子ども向け訓練

➤ 都内の小学生を対象に、地元自治会や大学等と連携し、訓練を実施

- 日 時：①令和6年9月26日、10月3日 新宿区立戸塚第一小学校4年生
②令和6年10月9日 新宿区立戸塚第二小学校4年生
- 参加者： 戸塚協働復興研究会10名、大学生・院生20名、新宿区等関係者



防災や事前復興に
ついて講義



フィールドワーク



逃げ地図作り



将来のまちづくりについて
子供から保護者へ発表

子供への授業を通じて多世代に取組みを拡大するとともに、
地域との繋がりを創出